

経済学部経済学科

学位（教育）プログラム名：経済学（経済学科）

経済学（経済学科）の学位（教育）プログラムでは、ディプロマ・ポリシー（DP:学位授与方針）に示した資質・能力を総合的に身につけている学生を育成するために、以下のカリキュラムを編成します。

[教育内容]

学問の基礎となる幅広い視野と知識を身につけるため、全学共通の多様性に富む共通教育科目を設置します。

経済学の入門的な知識と学習方法を身につけるため、新入生全員対象の「初年次演習」を1年次の前期に配置し、専門教育のための基礎科目として、「ミクロ経済学」および「マクロ経済学」を必修科目として、それぞれ1年次の後期および2年次の前期に配置します。

これらの基礎科目を土台に、2年次以降、学生の関心と希望する進路に応じて選択可能な3つのコースを配置します。

実践経済分析コースでは、経済学における様々な理論・分析手法を学ぶことを通じ、現実経済の動向について全般的な理解を深め、その将来の姿を展望できる力を身につけるため、「経済学史」、「経済数学」などのコース別選択必修科目、及びコース別選択科目を設置します。

応用経済学コースでは、財政・金融などに関する具体的な経済問題について、その原因を探り、問題解決に向けた対応策を立案・提示できる力を身につけるため、「財政学」、「金融論」などのコース別選択必修科目、及びコース別選択科目を配置します。

社会経済学コースでは、国内外の経済情勢とその歴史に関する知識、実用的な語学力、社会思想に裏付けられた論理的思考力の修得を通じ、広い視野で現実社会を理解できる力を身につけるため、「社会科学概論」、「経済史概論」などのコース別選択必修科目、及びコース別選択科目を配置します。

意欲をもった学生がグローバル化に対応できる能力を身につけるため、共通教育科目やG.A.P.科目に加え、専門教育科目として、「経済学ジョイントコース」、「海外研究者特別講義」などを配置します。

[教育方法]

演習科目として、2年次に基礎演習、3年次に演習、4年次に演習及び論文を配置し、少人数教育を実施します。担当教員、学生相互で協力しながら、自らが選択した課題に対し分析・考察を行い、卒業論文を執筆することで、課題探究・解決能力を身につけさせます。

講義科目では、スチューデント・アシスタントを配備し、経済学の理論分野の学習支援体制を整え、学生の自主学習をサポートします。

専門教育科目の中に、実社会での経験豊富な社会人による講義科目やインターンシップなどを組み込み、社会において自己が果たすべき役割を担い、市民として責任ある行動をとる姿勢を身につけさせます。